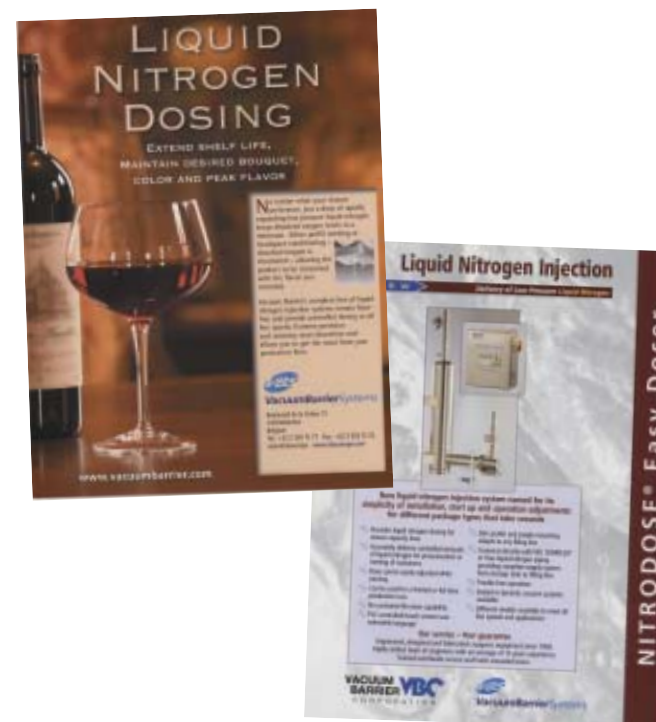
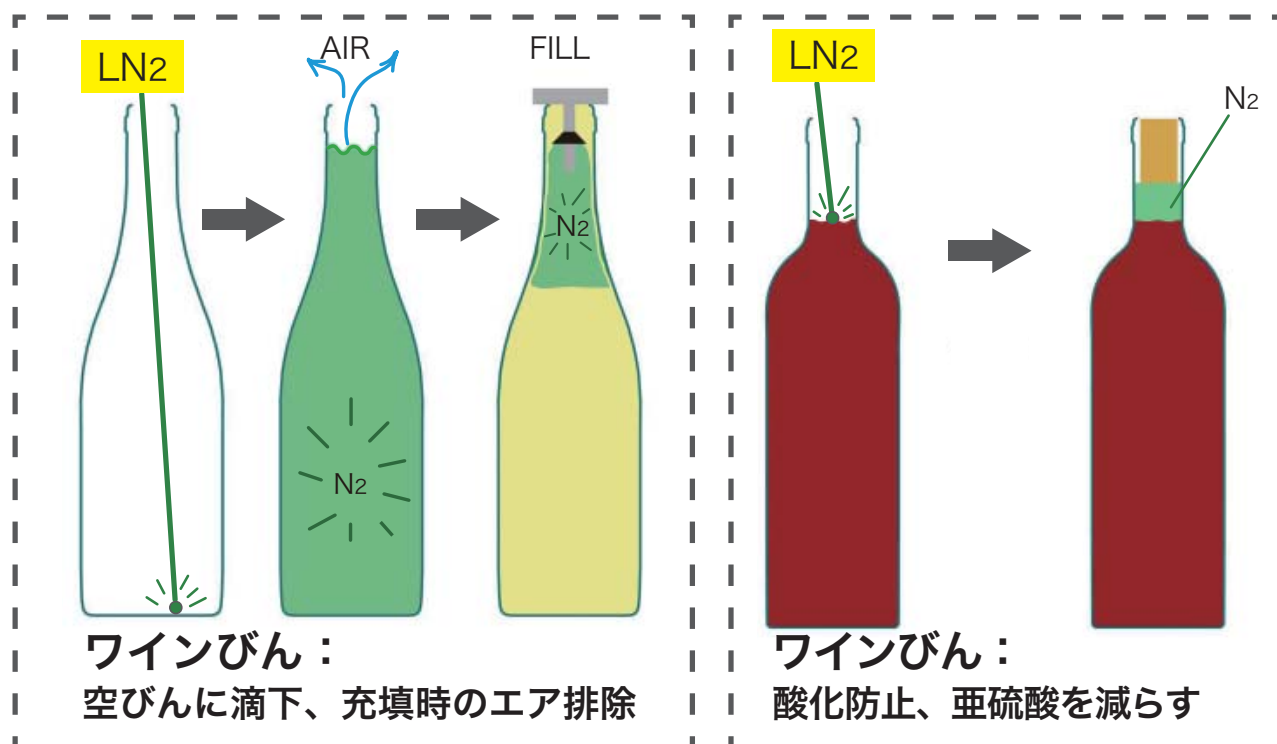
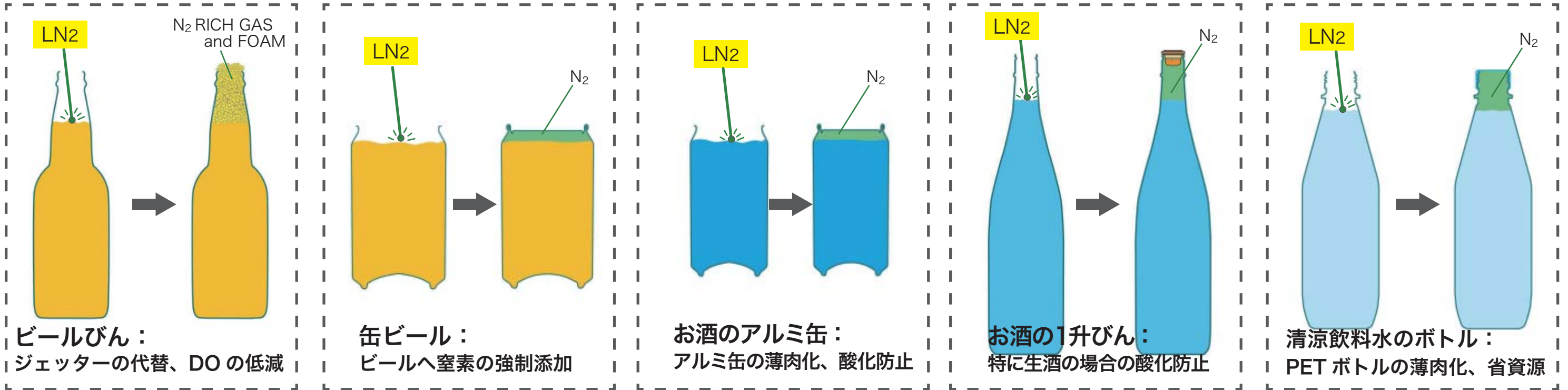


LN₂ (液体窒素) 滴下 の適用事例

- 正確にコントロールされた一滴の液体窒素を落とすだけ。この事によって、容器内酸素の低減による品質向上やシェルフライフの改善、陽圧による容器の薄肉化など、様々な効果を発揮します。
- 右の写真は、ビール液中の窒素溶存量を強制的に増やす、ラボ用の試験装置に利用した例。炭酸ガスと混合された窒素ガスは、ビールの泡をきめ細かくする特殊な効果があります。
- きた産業は液体窒素滴下技術導入期（1980年代）からの多くの実績を持っています。また、お酒、ワイン、ビールの分野での豊富な経験があります。液体窒素滴下のことなら、きた産業にご照会下さい。



液体窒素滴下技術は既に多くの分野で利用されていますが、高価で、取扱にも技術を要したため、大手企業の高速ラインでの利用が中心でした。VBCの液体窒素滴下装置は、従来装置に比べて画期的にコンパクトで操作も容易、また固定配管も不要です。VBCのシステムは、欧米でワインやビールなど、日本であまり使われていない分野でも多くの実績を持っています。

(cooperate with Japan Machinery Company)

きた産業株式会社
KITA SANGYO CO., LTD.

大阪営業部 〒544-0034 大阪市生野区桃谷 1-3-9
tel:06-6731-0251 e-mail : osaka@kitasangyo.com
東京営業部 〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-8-15
tel:03-3851-5191 e-mail : tokyo@kitasangyo.com